

国立白門会ニュース

第9号

国立市富士見台 1-1-201

村田巨

TEL (75) 2020

印刷 天栄印刷



会の輪を  
ひろげよう

会長 村田 巨

桜の季節なのに、まだ冬の寒さが続いております。皆様は元気で過ごしてでしょうか。昭和五三年に国立白門会が中央大学学生会三多摩支部国立分会として誕生してから、六年の歳月が流れました。昭和五七年五月には、支部昇格が承認されました。国立白門会は組織部、広報部、厚生部、事業部の四部制を採用し、部長さんを中心にそれぞれの部に所属する役員さんが、知恵を出し合って多彩な事業を行っております。会員名簿の作成や白門会ニュースの発行は目に見えない大変な作業であります。

毎年、国立市民まつりのおかげで実施している法律・税務及び不動産相談や昨年初めて試みた学術講演会公開講座などは中央大学ならではの企画で地域社会に貢献し、併せて母校の発展に寄与しているものと思えます。学員相互の親睦のため毎年行っている家族ぐるみの日帰り旅行や見学会、囲碁大会などには奮って参加して下さい。私達は年令や職業の違いをのり越えて、助け合い、支えあう国立白門会に多くの学員が結集し、その輪を広げながら母校の発展に寄与したいと希っております。

会の活動状況

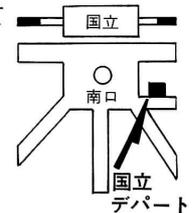
- 昭和58年
  - 4・7(木) 総会準備委員会 (西友地下)
  - 5・7(土) 総会準備委員会
  - 5・15(日) 第六回定期総会 (国立商協ホール)
  - 6・4(土) サントリー武蔵野工場 (府中市) 見学会
  - 6・5(日) 第一回囲碁大会 (せきやビル)
  - 6・15(木) 百周年記念募金委員会 (商協ホール)
  - 7・26(火) 公開講座実行委員会 個展後援会
  - 9・17(土) 公開講座及び市民祭 実行委員会
  - 10・2(日) 公開講座及び市民祭 実行委員会。白門会ニュース発行
  - 10・22(土) ①公開講座・個展・市民祭委員会  
②秋の甲斐路味覚の旅 公開講座 (公民館)
  - 10・30(日) 市民祭 (雨天中止)
  - 11・3(木) 岡田忠臣画伯個展後援 (大増ビル)
  - 11・21(月) 公開講座・個展・市民祭報告会
- 昭和59年
  - 1・13(金) 常任理事会
  - 1・19(木) 新年会 (信濃路)
  - 2・4(土) 百周年募金委員会
  - 2・25(土) 常任理事会
  - 4・3(火) 総会準備委員会

昭和59年度 総会のご案内

下記により定時総会を開催いたします。  
万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようご案内申し上げます。  
なお、会場等の都合上、同封のハガキを5月9日(水)までに必ずご返送方よろしくお願いいたします。

記

1. 日時 5月13日(日) 午後5時までにご参集のこと
2. 場所 国立商協ビル(国立デパート2F)
3. 議題
  - (1) 昭和58年度事業報告および決算報告について
  - (2) 昭和59年度事業計画案および予算案について
  - (3) 母校創立百周年記念事業資金募金その他について
4. 懇親会費 3,000円也 (当日ご持参下さい)



告!! 創立百周年募金へご協力を

毎号ご案内のとおり母校創立百周年の記念事業は、募金目標五〇億円です。総事業費は六三億余円ですが、次の主要計画が決定しておりますので、奮ってご協力をお願いいたします。

- 一、記念式典・功労者表彰・記念碑の建立
- 二、長谷川如是閑賞の設定・記念講演会
- 三、百年史・記念論文集・写真集等の発行
- 四、国際交流基金の設定
- 五、百周年記念館建設・学員名簿の刊行

すでに当支部からも募金委員十数名を出し、積極的活動を続けております。  
ご連絡・照会は村田支部長までどうぞ(七五二〇二〇)

昭和59年度  
国立白門会予算案

自 昭和59年4月1日  
至 昭和60年3月31日

昭和58年度 国立白門会決算書

自 昭和58年4月1日  
至 昭和59年3月31日

|      | 科目     | 金額      | 備考                                  |
|------|--------|---------|-------------------------------------|
| 収入の部 | 年会費    | 200,000 | 100名×2,000円                         |
|      | 学会会交付金 | 50,000  | 100周年記念事業資金募金交付金 30,000円 2名×10,000円 |
|      | 広告料収入  | 50,000  | 白門会ニュース広告料                          |
|      | 総会会費   | 120,000 | 40名×3,000円                          |
|      | 寄付その他  | 100,000 | 寄付, 事業収入等                           |
|      | 前期繰越金  | 192,947 |                                     |
|      | 合計     | 712,947 |                                     |
| 支出の部 | 印刷費    | 200,000 | ニュース2回×100,000円                     |
|      | 通信費    | 35,000  | ニュース・会員連絡等                          |
|      | 会議費    | 60,000  | 役員会会議費                              |
|      | 総会費用   | 120,000 |                                     |
|      | 交際費    | 50,000  | 学会会総会等                              |
|      | 事務用品費  | 10,000  |                                     |
|      | 予備費    | 237,947 |                                     |
|      | 合計     | 712,947 |                                     |

| 科目     | 決算      | 予算      | 科目    | 決算      | 予算      |
|--------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 年会費    | 214,000 | 200,000 | 印刷費   | 292,550 | 250,000 |
| 学会会交付金 | 20,000  | 100,000 | 通信費   | 40,210  | 65,000  |
| 広告料収入  | 38,000  | 60,000  | 会議費   | 61,720  | 50,000  |
| 総会会費   | 93,000  | 150,000 | 総会費用  | 91,500  | 150,000 |
| 寄付金    | 182,000 | 100,000 | 交際費   | 120,000 | 50,000  |
| 特別収入   | 13,000  | —       | 什器備品費 | 11,000  |         |
| その他雑収入 | 14,454  | —       | 事務用品費 | 6,630   | 10,000  |
| 前期繰越金  | 253,578 | 253,578 | その他雑費 | 11,475  | 288,578 |
|        |         |         | 次期繰越金 | 192,947 |         |
| 合計     | 828,032 | 863,578 | 合計    | 828,032 | 863,578 |

(注) 親睦会, 見学会, 旅行会等の費用は, 参加者負担の別会計で処理しました。

会計補佐 二 宮 巍  
会計監査 堀 田 敷  
" 佐 佐 伯 進  
" 安 戸 勇 之

### 五八年度実施報告

#### ●組織部

- 一、国立白門会名簿の発行。
- 二、学術講演会「市民パザール」絵画展へ参加。
- 三、母校創立百周年募金のお願いの案内。

#### ●厚生部

- 一、事業所見学会 6月4日(土) サントリー武蔵野工場(府中市)。参加者21名。
- 二、秋の甲斐路味覚の旅 10月22日(土)。石和メルシャンワイン工場見学。ワインの試飲及びブドウ狩り。勝沼、宮光園、バーベキュー及びブドウ狩り。参加者14名。
- 三、新年会 1月19日(木)信濃路。出席者21名。
- 四、囲碁大会。第一回 6月5日(日)せきやビル。参加者10名。第二回 1月22日(日)喫茶ロマン。参加者13名。

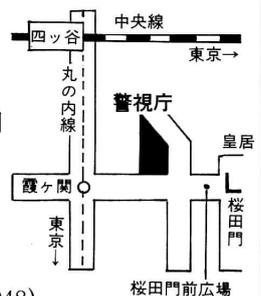
#### ●事業部

- 一、学術講演会を開催 10月30日(土)公民館
- 「少年非行と家庭・校内暴力をめぐって」 藤本哲也
- 「生命と健康と福祉と行政」 山本徳栄
- 聴講者約90名。
- 二、岡田忠臣画伯個展の後援 11月1日から6日大増ビル内。(岡田画伯のご好意により、売上金の一部を百周年記念事業へ寄付がありました。)

## 警視庁 見学会

日本は有数の治安国であり、東京は世界で5指に入る犯罪の少ない都市です。その法の番人の総本山、現代科学の粋を集めて建られ、原爆にもビクともしない警視庁を見に行きましょう。

- 日時 6月2日(土)午前10時(時間厳守)
- 集合場所 皇居 桜田門前広場  
 中央線約50分 → 四ツ谷  
 地下鉄丸ノ内線約10分 → 霞ヶ関  
 四ツ谷 → 霞ヶ関  
 歩約10分  
 霞ヶ関 → 桜田門前
- 費用 交通費のみ(片道約600円) 見学科等は無用。
- 連絡先 厚生部長 山崎 武 (72-3948)



## WISH

新年度となりました。59年度の会費を振替用紙で納入願います。(総会当日のご持参も受け付けております。会費二千元也。)

#### 広報部から!?

広報部では皆様のご意見・提案・紀行文その他なんでも募集しています。より多くの方からのご応募を期待しております。

宛先 国立市西3の8の58  
新倉良平

- 広報部
- 一、白門会ニュース第7号を5月1日付発行。
- 二、学術講演会の感想記事を学員時報に掲載。
- 三、事業部・厚生部協力行事に参加して取材活動。
- 四、白門会ニュース第8号を10月1日付発行。
- 三、市民祭の参加 11月3日(木) 準備万端用意周到でしたがあいにくの雨のため、中止となりました。なお、バザー出品物は59年度の市民祭に出品します。

### 五九年度活動予定

#### ●組織部

- 一、会員名簿の補充
- 二、新会員への呼びかけ拡充。
- 三、母校が編さん中の新「学员名簿」への協力。

#### ●厚生部

- 一、警視庁見学会6月2日(土) 詳細は2頁照覧。
- 二、秋の行楽。日帰り旅行又は観劇。詳細は10月1日発行予定の第10号に掲載。

#### 三、囲碁大会

- 四、新年懇親会。1月下旬市内。

#### ●事業部

- 一、国立をあれこれ考える会  
白門会も発足以来足掛け七年を迎えました。この辺で会員の皆様と国立の街のことをいろいろと考えて、意見の交換をはかりたいと思います。具体的には、この秋10月発行予定の白門会ニュースでお知らせしますが、来年度からはその成果をみながら、年2回位の開催を考えております。
- 二、市民祭の参加

今年度も一層の充実を期し、バザーや市民のための法律・税務・不動産の相談コーナーを企画します。  
なお、バザーの出品物は会員皆様のご協力を、今からご用意いただくようよろしくお願いいたします。出品

される方は、地区連絡員へ有償無償の別をお申し出下さい。

#### ●広報部

- 一、白門会ニュース第9号を5月1日付発行予定。
- 二、各部との連携を密にして各主催行事への積極参加と取材。
- 三、会員からの投稿をつのる。
- 四、白門会ニュース第10号を10月1日付発行予定。

### キャンパスだより

○今年度の中央大学合格者を高校別でみると、国立白門会の活動地域にある国立高校が第二位の合格者数であった。国立白門会の活動が中央大学と地域社会とが密接な係りを持っていて事が理解され、さらに国高からの合格者が増えれば幸いです。

○理工学部精密機械工学科二年の保泉君ら三名が人命救助で表彰されました。これは去る58年11月2日川崎市高津区の高摩川本流に転落水難中の男子高校生を救助したことから川口学長と高津署長に表彰されました。  
○経済学部四年の大野純一君が外務大臣賞を受賞しました。これは外務省と(社)日本外交協会が共催の講和条約発効30周年記念国際問題討論会で学生・留学生を対象に、指定されたテーマで競ったもの。

### 駿河台校舎懐古

57年法卒 清野 滋

中央大学が多摩に移転してかなりになります。私が入校したのは五四年四月ですが、実は、一年の時から多摩校舎で学んだのは、私達が初めてでした。つまり、私達は駿河台校舎を知らない初めての中大生というわけです。駿河台校舎は、ご存じの通り、取り壊されて、もうないので、私達が在学中は、まだ夜学の授業が行われていましたので、時折訪れる機会がありました。その校舎は、もうだいぶ古いのはもちろんですが、使われないうちに運命にあることがわかっ

ていた為か、寂しく、がらんと静まりかえっていたのを覚えています。  
大学の郊外への移転は、時の趨勢で、何といっても、増えてゆく学生を収容しきれないのが問題で、中央大学もその例にもれず、八王子の地に移転することとなったわけですが、あの駿河台校舎の、先輩達の勉学の汗のにじんだ古びた校舎に、懐古を抱くのは私だけではないと思います。大学が移転して、校舎が変わることで、校風が変わるのかどうかわかりませんが、新しく多摩の地にできた校風で、また一つ新しい中央大学の色が出てくるかもしれません。多摩の校舎は、設備は十分す

### 雑詠

福谷 実(萌子)

黄昏を気かず燕の巢に憩う  
泣き濡れて眠れぬ夜へ五月闇  
ちまきつくる掌指へ亡母をだぶらせる  
もゆる青葉にジョギングの胸おどらせて  
菖蒲湯に子の路熟年を省りみず  
五月雨を集めたあとへ列の傘



洋菓子・珈琲

## 国立白十字

- ★駅前南口店 (75)8791
- ★駅前北口店 (75)4244
- ★富士見台店 (75)6814

## Wine & Dinner

あなたのひとときを

### イタリアンレストラン

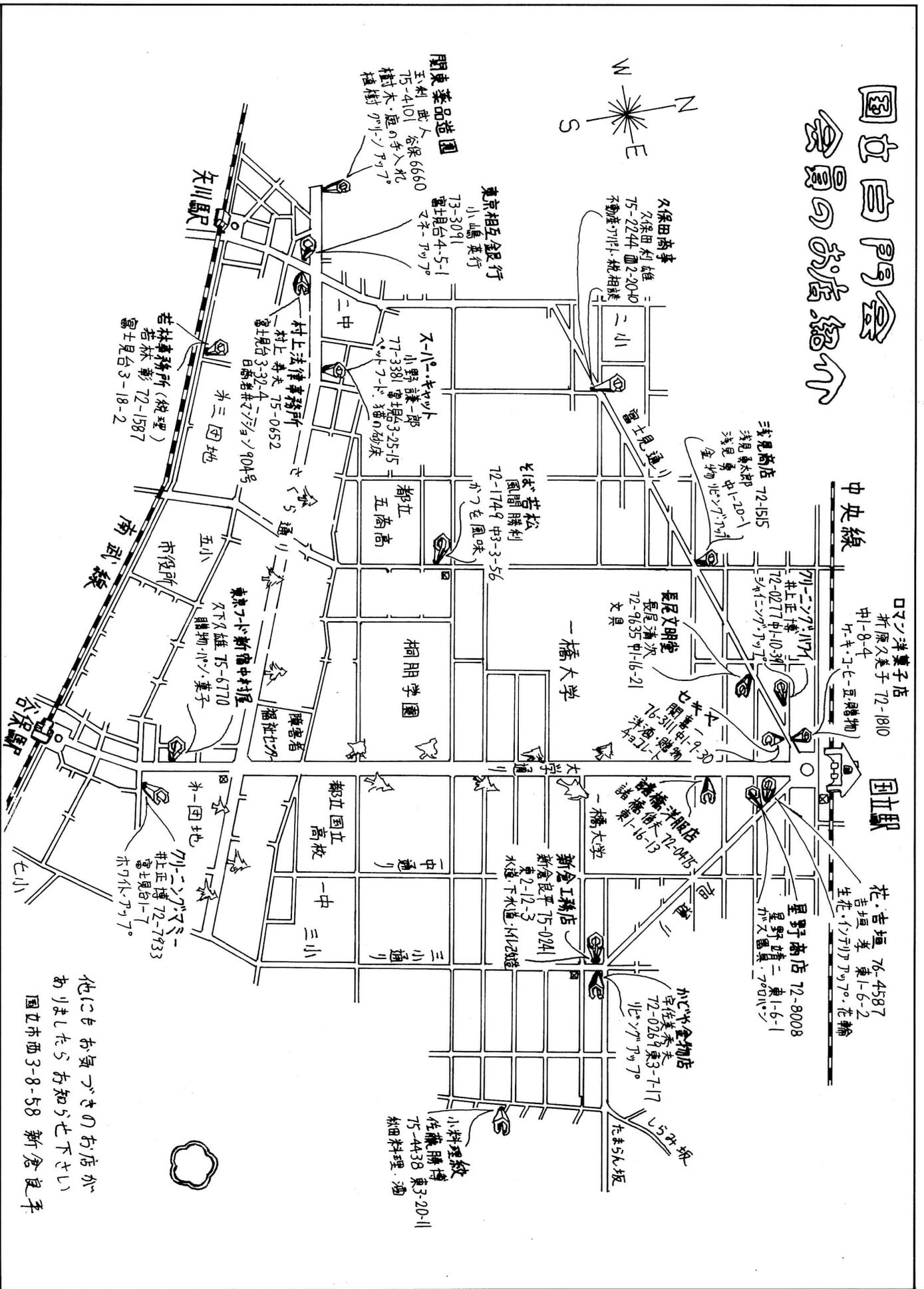
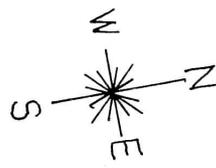
OPEN 11:30AM~10:00PM  
中1-9-4 大学通り白十字2F  
TEL. 76-1401



## Villa's

ぎる程整っており、加えて環境がすばらしいので、勉強には申し分のない場を提供しています。今後、この新しい校舎に、息吹きを吹き込むのは、これから勉強する学生にかかっていると言えましょう。

# 国立白門会 会員の店舗紹介



ロソソ洋菓子店  
折原久美子 72-1810  
中-1-8-4  
トキコト豆贈物

花吉垣 76-4587  
吉垣孝 東1-6-2  
生花・フナリカ 7970・花輪

星野商店 72-8008  
星野靖二 東1-6-1  
加久盛 700111

三見商店 72-1515  
三見善太郎 1-10-1  
浅見善太郎  
金物 北ノノリ

久保田高孝  
久保田利雄 75-2244 画2-2040  
不動産 7111-1 概相談

東京相互銀行  
小嶋兼行  
73-3091  
富士見台4-5-1  
エネ-7979

関東薬品造園  
玉村 武人 念保6660  
75-4101  
榎木 直の 念保  
植樹 7111-1

若林事務所(総理)  
若林彰 72-1587  
富士見台3-18-2

村上法律事務所  
村上寿夫 75-0652  
富士見台3-32-4  
日高台47-17-1 904号

スパーセック  
小野謙一郎  
71-3381 富士見台3-25-15  
エネ-7979 3階000床

しば若松  
風間勝利  
72-1749 中3-3-56  
かろを風味

長尾文明堂  
長尾清次 72-9635 中-16-21  
文具

長尾洋服店  
72-0415  
72-16-13  
72-16-13

新倉工務店  
新倉良平 75-0241  
東2-12-3  
水道 下水道 1412222

カビヤ金物店  
宇佐美泰夫 72-0264 東3-7-17  
北ノノリ 7979

小料理紋博  
佐藤勝博 75-4438 東3-20-11  
和食料理 池

他にもお買づきのお店が  
ありましたらお知らせ下さい  
国立市西3-8-58 新倉良平

# 恒例の新年会開く

山村 鶴音

年も改まって、珍しく雪に見舞われた一月十九日(木)の夜、音高に近い酒亭「信濃路」の二階で、にぎやかに新年懇親会が開かれた。村田会長からできるだけ大勢の人に、若い諸君にもなるべく出てほしいとの願いをこめ、執行部の皆さんが手分けして出席を勧誘して回ったが、何しろ例年にならぬ寒波の襲来する折柄、二十数名というやや寂しい顔ぶれとなったのは残念なことだった。しかし、ご多端の中を国立市長の谷清さんも出席され、うれしい思いをした。

午後六時半すぎ、司会役・山崎厚生部長の「雪の中を、ご苦労さまでした」の声でスタート。開会の言葉を井上副会長が滋味豊かにあいさつ。村田会長からは、昨年の回顧と母校百周年募金という大事業に臨む新年の抱負が述べられ、また生みの親、育ての親でもある池田顧問が昨年十一月倒れて以来意識不明の病床にあられることに深甚なお見舞いの言葉があった。市橋顧問はあいにく白門婦人会の新年会と重なり欠席の已む無きに至ったお詫びをというご伝言を頂いた旨披露された。私には初耳であったが、東京相互銀行

矢川支店長の坂本氏が本部勤務へ栄転となり、勤めは変わるが、このまま国立支部にぜひ籍をおかして欲しいとのこと。大変心強いお話で、皆さんが同じ心境だったと思う。谷顧問からは、市長二期目を全力投球されているご活躍ぶりがかかるような近況スピーチと、この雪降りもまあまあで、東京都の雪害対策が発動されていないことを喜んでおられる内輪話も漏らされていた。

報部長が続いて立ち、昨年春の統一地方選挙で首尾よく当選を果たした谷市長と井上正博市議への激励のひと言があり、盛んな拍手をよんだ。一応行事がおわったところで、二部の宴会は七時ころから、風間副幹事長のフレッシュな運営で始まった。まず乾杯の音頭を、この十年風邪引かずという丸本幹事長がとる。また、欠席された会員からのメッセージが次々に発表されたが、貴重な婦人会員の北沢さんや精密検査で入院中の会計の二宮氏ほか顔見知りの方々がこの席に見えない寂しさを埋めるように、このあとのウタゲは、一気呵成に盛り上がり、アルコールの度合いも深

まった。せっかくの自己紹介も時に聞こえなくなったが、温厚な会計監査の宍戸氏とは対照的な生きのいい市役所の山川、中島、川村、荒木の諸氏の弁も愉快だった。八時を過ぎて会長からのポトルが届き、カラオケ大会も幕開けとなる。井上副会長の四季の歌、丸本氏の奥飛驒慕情、山村の人生劇場、山崎氏の黒田節、玉利氏の別れの一本杉、風間氏の女の意地、久保田氏の裏町人生、中館氏のみちづれ、荒木氏の矢切りの渡し……。だいたい私の記憶もあやしいのでご勘弁願いたい。とにかく皆さんの元気のいいのには感服して、隣りにいる能味氏とよくおしゃべりを重

ねては酒量をあげたという次第。井上市議からは、市議会をぜひ傍聴に来てほしい。勉強になりますよ、という話もあり、何人か出かけてみようかと約束したりしたが、誰と誰だったか思い出せない。一番若い清野氏も、初めての参加で皆さんにかわいがられていたようだ。村田会長の願いも少しずつこぼれていく。ラストの万歳三唱は福谷副会長の発声で練めくり、恒例の校歌の斉唱も晴れやかに大きな声で一同和して楽しいこの夜の幕を引くことが出来た。時刻は九時半を回っていた。



洋菓子  
コーヒ一豆  
ロマン



# 秋の甲斐路を行く



山崎 武

昨年十月二二日、マイカーとマイクロバスで中央自動車道を、国立ICから一路西へ。その高速道を挟む山波は、松の緑に雑木の紅葉が一段と映えて美しく輝いていた。

談合坂で小休憩した国立白門会親睦ツアー一四名は、やがて右手に小山田信茂の居城跡、岩殿山の絶壁を眼近に眺め、続いて桂川を挟んで、左手に建つ猿橋の発電所を望みながら、笹子トンネルへと。

同トンネルは、片側二車線高さも幅員もゆとりがある。内部照明や排気排水も、現代科学の粋を集めた構造とかトンネルを抜けると、右手に峡谷を隔てて天目山が聳え立っていた。勝頼の自刃につ

いてる武田家の悲劇の歴史は、ここで述べるのを割愛するが、怨念を宿す山は、今朝は雲を払い秋晴れに爽やかだった。天目山を過ぎると眼下に勝沼の街並みが開けていた。ブドウの名所は後に回して石和まで突走り、モンテワイン工場に到着。工場の経営者は中大出身だと聞いた。厚生部・関副部長の根回しもよろしく、早速笑顔で出迎えた案内者が、

まずは気軽にガイドに立ってくれた。整頓された工場の作業工程は、ブドウの仕込みから発酵絞り、樽詰、倉庫貯蔵と流れ作業は少ない人員でスムーズに運ばれていた。見学が終わるとワインの試飲会場に移る。そこには二十数種類のワインを、透明な容器に入れて陳列し、各自がグラスへ自由にコックを開けて注げるようになっていた。会場にはその芳醇な香りが溢れ漂うようで、一行はグラスを挙げて、ひととき花を咲かせたことである。お土産にワインを一本ずつ頂いて車に乗ると、次は同社経営のブドウ園に案内された。棚下にゴザを敷き、取り立ての柿をむき、山と積んだブドウを試食してから、各自鉢と籠を手にして、思いおみのブドウ房を一杯に詰めさせてもらった。

この後、会場は勝沼のメルシャンワイン工場へ移った。メルシャンでは工場見学をやめて記念写真を撮り、映画を見ることにした。



二階の講堂でワインを飲みながら見た映画は、ブドウを作るに適した環境と土壌。肥料の製造から施肥の仕方、苗木の植付発育や成長の過程における手入れ、摘芽摘花摘房消毒、さらには袋掛けと、大変な手間ひまのかかる作業だが、それにも増して恐ろしいのは天候の影響だという。苦勞に苦勞を重ねて製造し、樽詰めにしても、五年や八年寝かせても飲めるものではない。少なくとも十数年は寝かせなければ市販できないのだ。気の長い話だが、それにも増して一滴のワインが、いかに貴重であるかをシミジミと感じさせられた。

映画が終わって高台のブドウ園に向ったが、その入口にたつ高さ三メートル幅一メートルもある大きな寒水石の碑には、「天皇陛下行幸記念」と記されていた。ブドウ棚の下を抜けて奥へ入ると、展望のきく食堂が出て来て、「国立白門会御一行様」と歓迎の表示がうれしかった。井上副会長の挨拶は、参加者皆さんへのお礼の言葉と、関係役員の適切な運営に対する感謝の表明であったが、特に若い関、風間の両氏の協力支援については心から喜ばれていた。うまそうなバーベキューは程よくできあがり、好みのワインで乾杯、あとはまたにぎやかな話が際限なく続く。食べ放題のブドウ、そしてまた各自一本ずつのワインを土産に頂いて恐縮した。大きな籠が千二百円、この籠に摘み取ったブドウ房を詰められるだけ詰めて、メルシャンブドウ園に別れを告げた。車は反転して御坂峠に差しかかる時、山塊の雑木は午後陽射しを浴びて、照り冴えていた。短いトンネルを抜けて、ヘアピンカーブの坂道を下って行くと、もう河口湖である。霊峰富士は雲を冠り、湖水は汚濁して街並みを行き交う人の影は、ほとんどなかった。

**レッドトップ**

ボトル売り・カラオケなし  
マイペースで飲める

ブランコ通り多摩信ウラ  
75-1212

LIQUOR STORE  
since 1910

**SEKIYA**

関 喜一 (昭43年卒)

スコッチ&チョコレート

国立市中1-9-30

真夏の豪雨は、ホテルも住宅も床上浸水をもたらした。浸水の跡を鮮明に残していたのは、何とも痛ましい限りであった。急に昏くなってきて冷たい風が吹き出したので、飛び込むようにして車中の人となり、国立まで戻ったのは、四時半ごろだった。